

入場無料* 予約不要



今、「羅生門」を 読むことの意義

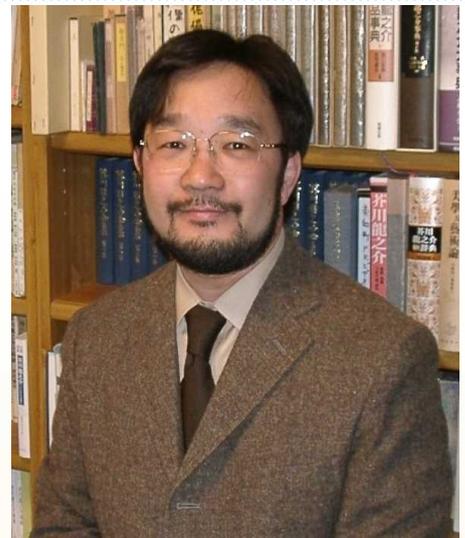
— 西洋の「知」の受容としての“Sentimentalism” —

日時：平成28年 7月 1日(金)
16:30～18:30
(終了予定)

場所：山梨大学附属図書館 1階
ラーニングコモンズ



◆ お車の方は、正門入口総合案内所をおたずねください。ただし、駐車場には限りがあります。できるだけ公共交通機関をご利用ください。



講師

横浜市立大学 教授
庄司 達也 氏

◆ 1961年生。芥川龍之介の〈人〉と〈文学〉を主たる研究テーマとし、出版メディアと作家、読者の関係にも関心を持つ。また、作家が聴いた音楽を蓄音機とSPレコードで再現するレコード・コンサートなども企画・開催している。昨年、編者となった『芥川龍之介ハンドブック』（鼎書房、2015）が刊行された。

平成28年度展示

漱石没後100年記念
大正文学展
— 夏目漱石から芥川龍之介へ —
6月24日(金)～
図書館 2階 第一展示室にて